

事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切である
	2	職員の配置数は適切であるか		○		最低人員配置基準に1人以上、児童指導員等を加配しているが、マンツーマンでの支援を要する利用者が重複する日は、職員の数人が十分ではないと感じることもある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		駐車場から玄関までのアプローチが不十分だが、その他全てバリアフリー化されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		事業計画や個別支援計画、日々の活動において評価、見直しを行う体制を整えているが十分とはいえない。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートを実施し（1回／年）、保護者等の意向や要望の把握に努めている。また、改善できる点については、速やかに対応している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	公開していない
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	ひらめき2%として第三者評価を受けているが、放課後等デイサービス単独では受審していない。自己評価は実施している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		業務の確認と振り返りを就業前後に行っている他、内部研修の機会を適宜設けている。外部研修を受講する機会がなかった。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			中間評価と終了時評価の際に個別支援計画書を見直している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールを使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラムの立案については、複数の職員の合意のもと行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		ある程度固定した活動プログラムの中で、複数の活動を用意し選択できるようにしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日、長期休暇に応じ、活動プログラムを組み替えている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の障害特性に合わせ、個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成している

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝礼時に、その日の業務内容と利用者支援について確認をしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		業務日誌や社内メールを通じ、支援内容や業務内容について報告をするルールになっているが、報告が漏れることが稀にあるため改善の余地がある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		支援の記録については、業務日誌に記録し、日々検証・改善に努めているが、記録が不十分であることもあり改善の余地がある
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			中間評価及び終了時評価の中で、見直しの必要性を判断している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			行っている
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			各種会議には、児童発達支援管理責任者が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		学校行事については、保護者を通じ情報を得る機会が多い。送迎時の対応やトラブルについては、その都度適切な対応を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			保護者から聞き取り、対応方法を明確にしている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	現在は行っていない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	○			必要に応じ、情報提供を行っている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	受けていない
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	交流する機会はほとんどない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			特別な事情がない限り、毎回参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡ノートを通じ、保護者に利用時の様子を伝えている。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアトレーニング等の支援を行っているか			○	行っていない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			新規契約時や変更の都度、サービス内容や利用者負担額について口頭もしくは書面にて説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		相談に乗ることもあるが、必要な助言と支援を行えているとは言い難い
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者懇親会の中で小旅行やBBQを行っているが、参加されない保護者との連携は支援できていない
保護者への説明責任等	33	子どもの保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決規程に沿って対応している。
	34	定期的に会報等は発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し発信しているか	○			2ヶ月に1回機関紙を発行し、活動内容等の情報を提供している
	35	個人情報に十分注意しているか	○			契約書 第13条（秘密の保持）に基づいた対応を行っている
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		言語でのコミュニケーションが難しい場合は、絵カードやトークンエコノミーを用いているが、上手くない事例もあり、改善の余地がある。保護者との情報交換は、主に連絡ノートを用いて行っている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		毎年実施する秋まつりに施設機能を解放しているが、それ以外は行っていない
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員に対しては、運営の手引きに沿って定期的に教育の機会を設けているが、保護者に周知はしていない。
	39	非常災害に備え、定期的に避難、救助その他必要な訓練を行っているか	○			1回／月以上、避難訓練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			朝礼時に虐待防止チェックリストを毎日読んでいる他、虐待防止に係る職員研修を定期的実施している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			支援会議の中で、必要性の有無について話し合った上で決定している。その場合、個別支援計画に明記し、保護者から了承を得る体制をとっているが、該当する方はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	—	—	該当する方は利用されていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有しているか	○			グランドルールに明記し、毎朝礼時に読み合わせをしている。